



塗装だより

横浜塗装職人が送るニュースレター・その5

見積り担当菊池です

代表の曾根です

株式会社横浜塗装職人
代表取締役 曾根省吾



先日塗装をしてから11年目のお宅へお伺いさせて頂きました。まだ私が直に作業していた頃ですね。懐かしすぎる！
外壁はトタン、他の場所は木部と鉄部が中心ですので、どちらかといえば傷みやすい素材を使ったお家。
現在の状況はと言えば、「満足」というお話を聞かせて頂き、作業に間違いはなかったと再確認をさせて頂いたと同時に、少し誇らしい気持ちになりました。
当時の見積もりは決して安くなかったとも…
ただ今後も工事を実直に行うために、価格を魅力的に見せるようなやり方もしません！誰もが工事内容が一番に決まってるはずなので！^(^。^)

株式会社横浜塗装職人
見積り担当 菊池光也



薔薇に似合う色で外壁を塗りたいということで、今年の一月に塗装させていただいたお客さまより「薔薇が満開になりました」というお電話をいただきました。
そのお客さまのお宅へは完成から、三ヶ月以上経つのですが、忙しさにかまけてご挨拶にもいけていませんでした。
近日中に、写真を撮りにいきます。

写真を撮ったら、フェイスブックにアップする予定です。
是非、「菊池光也」で検索してみてください。
私の顔写真が目印です。

今月のお客様

- ① 東京都大田区池上
モルタル外壁、コロニアル屋根
一級塗装技能士・星野が塗装
- ② 横浜市戸塚区深谷町
サイディング外壁、コロニアル屋根
一級塗装技能士・戸嶋が塗装
- ③ 横須賀市久里浜
サイディング外壁、コロニアル屋根
一級塗装技能士・川口が塗装

など



今回施工に伺わせていただいたのは、旭区白根のALC外壁の住宅です。二軒分もある広い住宅で、屋根はアーバニー屋根でした。

築20年で初めての塗装ということで、外壁には20年分の汚れが蓄積。苔や藻だけではなく、土埃も膜を作っていて、雨樋の中には植物が育っているような状態。

まずはそれらを手で撤去してから、念入りに水洗いをしました。

150キロ圧の静音タイプの高圧洗浄機です。

この工事の詳細は次のページ→

横浜塗装職人、今月の施工

旭区白根の住宅塗装

今月は、旭区白根で行ったALC外壁塗装の様子をお届けします。

築20年で初めての外壁塗装を行う住宅は、全体で二軒分ほどある広いお宅で、アーバニー屋根でした。アーバニー屋根とは、コロンアル屋根が横一列にスレートが貼り付けてあるの比べ、スレート一枚一枚が段々に張り付けてある屋根です。

一級塗装技能士・塗装指導員の資格を持つ星野が中心となって施工します。



塗装前の住宅は、20年分の汚れをしっかりと抱え込んでいる状態でした。

雨樋や軒天は砂埃が付着していて、目地シールは劣化によるブリードで空気中の汚れを吸い寄せてしまったせいか黒ずんで汚れています。

雨樋には20年分の苔がしっかりと溜まっていたので、水洗いの前に手で拾い上げます。拾い上げながら、同時に皮スキというヘラでこびりついた苔も剥がして掃除をすると、ごみ袋二つ分にもなりました。

撤去のあとは、150キロワットの静音高圧洗浄機で水洗いしました。古い塗膜と汚れを落とし、外壁にも細かな傷をつけることで、塗装に最適な状態に仕上げます。

新築時は、目地シールはシリコンシーリングで打ち込んであることが多く、上から塗装を行わない新築時は最適なシーリング

になります。こちらは、シールを全面撤去し、二液の高級ウレタンシーリングを充填しました。ノンブリードタイプなので塗料との相性も良く、二液のため再利用が可能なので、無駄なく肉厚に注入出来ます。水洗い後の外壁には、浸透性のシーラーをたっぷり塗布します。

下塗り剤は、外壁と塗料を密着させる接着剤のような役割も持っていますので、しっかりと濡れ感を残すように塗布しました。その後、水性シリコンセラUV塗料で中塗りと上塗りを重ねます。使用した色は、オフグレーの淡彩色です。ローラーを縦横に転がし、ムラにならないよう塗膜の厚みをつけて塗布しました。

窓枠にはしっかりと養生をし、隅まで均一な塗膜を作り上げます。外壁はさらさらとした気泡コンクリートで、モルタルリシン外壁と同じようにたっぷり塗料を吸い込んでしまったため、下塗り塗料と合わせて外壁だけで16缶使用する塗装となりました。

アーバニー屋根の補修

築20年で初めての塗装ということで、屋根には苔や藻だけではなく砂埃が厚く膜を作っていました。洗浄にも気を遣ってしっかりと落とし後は、屋根にもシーラーを塗布していきます。アーバニー屋根はスレートが横にも段々のように並んでいるので、隙間を塗布し損ねないようにローラーは念入りに重ね目にして転がしました。

一部、スレートが割れていた部分は専用ポンドを使用して補修を行います。



ざらざらとして塗料を吸い込みやすい外壁

その他の施工



冬の冷気も防いでくれるので、冷房・暖房の使用頻度が下がります。電気代の節約にも繋がる塗装です。

割れ目にポンドを注入し、均して凸凹をなくした後は、雨抑えをケレンします。ケレンは、つるりとした鉄部分により塗料が密着するように細かい傷をつける作業です。同時に、必ずと言っていいほど飛び出ている釘を打ち込んで、雨抑えと雪止めに下塗り剤として錆止め塗料を塗布します。使用する塗料によって色を変えるのですが、今回は完成がブラックの予定なので、赤錆色を使用しました。屋根には溶剤シリコンベスト塗料を使用。中塗りと上塗りの塗料の色を変えて、色ムラが出ないようにします。



広い屋根なので、腰を屈める時間が長く、作業が終わった後は腰が悲鳴をあげるほど。上塗りを終えると、苔・藻・砂で覆われていた屋根が黒光りするほど綺麗に仕上がります。達成感も一塩です。

保土ヶ谷区初音ヶ丘で、キルコート断熱塗料による外壁塗装を行いました。

5層塗装した住宅塗装は、新築のように生まれ変わるだけでなく、全体的に大きくなったようにも見えます。断熱塗装は、屋根と外壁を紫外線を弾く効果のある中空ビーズを含んだ中塗り塗料を使用することで、室内温度の上昇を防ぎます。この夏に向けてオススメの塗料ですが、

塗装職人の“職人”

月毎に職人のプロフィールと近況、コラムを掲載します。
工作中は見られない素顔を公開！？

今月の職人

二級塗装技能士

曾根 和晃（そね かずあき）



曾根は塗装職人代表の甥であり、若手ながらも技術と経験を兼ね備えた職人です。以前は内装の仕事をしていましたが、21歳の頃から塗装、シーリングを行うようになり、今では防水工事も担当しています。仕事に真摯に取り組む彼ですが、プライベートではペットのモルモット2匹をかわいがる、動物好きの一面もあります。そんな職人・曾根の話を今回は聞いてきました。

元々は内装のボード張りや、下地を作る職人をしていましたが、7年前に叔父の下で塗装職人として働き始めました。

塗装以外にも、シーリングや防水と幅広く行うことができるので、そこが僕の強みだと思っています。

規定を変更した方が、塗装が長持ちすると分かった場合、そのまま施工を続けないで、お客様にデメリットも伝えたと上で提案をしています。

趣味は海釣りです。最近掘に行つたくらいなので、久しぶりに海で釣りたいですね。

休日は家でのんびりすることが多いですが、この間は飼っているモルモットのボアちゃんと、ちーちゃんを近所の公園で散歩させました（笑）



塗装の豆知識

今号は鉄部塗装の「ケレン」についてお話しさせていただきます。

ケレンという言葉は、一般の方には少し馴染みが薄いかも知れません。これは、塗装前に行う下地調整の一種で、サビや汚れ、傷んだ塗膜を除去したり、微細な傷をつける作業をこのように呼んでいます。

このケレン、塗装工事では欠かすことのできないとても重要な工程です。古い塗膜やサビを除去することはもちろん、あえて傷をつけることで塗装の持ちが変化するからです。

それは何故でしょうか。鉄部は基本的に下地がツルツルとしているため、何も手を加えずに塗料を重ねると、引つ掛かりがないので塗膜が剥がれやすくなってしまいます。高級塗料をたっぷり重ね、厚膜に仕上げても、あまり長持ちせずに剥がれてしまつては、肉厚に仕上げた塗膜の意味もなく



なつてしまいます。

塗膜をしっかりと密着させ、長持ちする塗装に仕上げるためには、下地全体を研磨してわずかに擦り傷をつけます。この傷が引つ掛かりとなり、下地と塗料の食い付きを向上させるのです。

ケレンに使う道具は様々あり、よく使われるのはナイロンたわし、サンドペーパー、皮スキ（金ペラ）です。

皮スキやたわしで付着した汚れや、発生したサビを可能な限り削り落とし、たわしやサンドペーパーで全体を研磨していきます。サビのひどい平面や、広範囲のケレンをする場合は、ディスクサンダーという電動工具を使用することもあります。

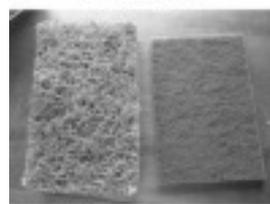
このようにケレンをしたのち、肉厚に塗料を重ねていくことで、剥がれにくく耐久性の高い塗装に仕上げる事が可能になります。

ケレンをしたかどうかは、塗装後、目に見える形でわかる作業ではありません。ですが、塗装が長持ちするか否かという結果として現れてくる部分です。

塗装工事では、「塗料を塗る」という工程以外にも、ケレンのように大事な工程ばかりであり、そのひとつひとつを的確に行うことで、家を傷みからしっかりと守る塗装になるのです。



ケレン道具一式



ナイロンたわし2種

水回り、内装リフォーム、屋根吹き替え

ショールーム、チラシ等の宣伝広告、営業マン・・・
リフォーム業者さんは、どれほどの莫大な経費を掛けているのでしょうか？

それは必ずどこかで品質にしわ寄せが行っているということと同じ意味をもちます。当店では今のところ、リフォームの告知はここだけで、経費はほぼゼロに近いです。

さらに職人は、社長の元々の友人、知り合いですので、信頼関係はバッチリ。

他のリフォーム業者さんと同じ施工と品物でしたら、必ず質の高いご満足頂く工事が出来ると思います。

ご計画中の方は、是非お問い合わせください。



職人・馬上（まがみ）



職人・内田（うちだ）

仲の良いご友人、お知り合いにご紹介ください

住宅塗装は、商店街で売っている物とはワケがちがいます。

「紹介したけれども、もし工事が悪かったら・・・」

などと考えてしまうと、とても知り合いなどに紹介出来るはずありません。

どうか是非、あなたが苦勞した業者選びの結果に塗装職人を選び、そしてその工事での満足度を、そのまま周囲の方々にお伝えください。

あなたの「誠意」が通じるような工事を、責任を持って私たちが施工させていただきます。

無料見積りは 0120-382-361

9:00~20:00 土日も営業

株式会社塗装職人

〒240-005

神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 1235-9

西谷駅から16号線沿いを左にまっすぐ、徒歩10分程。

青い掘立小屋と「日本ペイント」「塗装職人」の看板が目印です。

横浜塗装職人

検索

編集後記

塗装日より、第五号のお届けとなりました。
今月の内容はいかがでしたか？

ここ最近の気温が、暑かったり少し肌寒かったりとまちまちですが、体調は崩していませんか？

そろそろ梅雨が近く、そして職人にとっては作業がとても辛い夏がやってきますね。塗料やシールが特に乾きやすい夏は、乾きが早いのはとてもありがたいのですが、屋根は照り返すし、乾きが早すぎて作業にも一瞬の気が抜けなかったり…熱中症にも気をつけなければなりません。

でも、夏といえばプールやかき氷、スイカ、などなど夏にしかない楽しみもてんこ盛り♪それを楽しみに、今月も頑張っていきたいと思います！（^-^）

後記担当・M.S